

福祉だより

春号
NO.86

社会福祉法人 泊村社会福祉協議会 発行

発行日
令和6年4月1日

〒045-0202 古宇郡泊村大字茅沼村500番地の2 TEL 0135-75-3761 FAX 0135-75-3763
メールアドレス tomari-syakyo@ak.wakwak.jp ホームページ <http://www.tomarimura-syakyoku.or.jp>



地域交流事業「ふれあい陶芸体験」

令和5年8月に児童から高齢者25名を対象に「ふれあい陶芸体験事業」を開催いたしました。当日、陶芸製作が初めての参加者もあり、少し緊張している様子でしたが、簡単な作業で「世界に一つだけしかない自分だけの皿」を作ることができて喜んでおりました。毎日使用する皿を自分の手で作れるのは素敵ですね。

令和6年度も地域交流事業を実施予定ですので、地域のみなさまのご参加お待ちしております。

目次

- 表紙「地域交流事業 ふれあい陶芸体験」
- 赤い羽根協働募金・歳末見舞金のお礼及び実績報告
- ボランティアセンターだより
- 寄付金お礼・各種事業お知らせ・編集後記



QRコード

泊社協ホームページ



この広報誌は共同募金の配分金を用いて発行しております。



赤い羽根共同募金 へのご協力ありがとうございました。

募金総額 384,834円



共同募金は地域でともに暮らす人たちのために役立ててほしいという思いが込められた寄付金です。民間福祉施設の環境整備、子育て支援、障害者の自立支援のための事業のほか、泊村の地域福祉を推進していく事業費として配分されます。寄付者の皆様をはじめ、募金活動にご協力いただきました地域会、学校、地元企業、ボランティアの方々のご尽力により、たくさんの募金が集まりました。

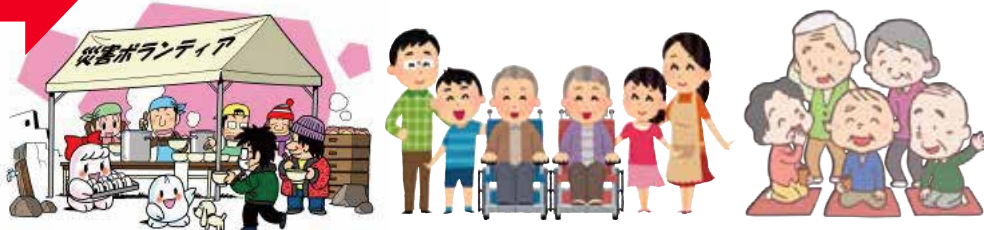
募金その後は？

ご協力いただいた赤い羽根共同募金はこれから泊村内の支援を必要とする地域や団体に配分されます。

災害支援金

福祉事業

団体事業



地域歳末たすけあい運動 へのご協力ありがとうございました。

令和5年12月1日～31日まで行われた「地域歳末たすけあい運動」におかれましては、多くの企業・村民の皆様からご寄付をいただき、誠にありがとうございました。皆様から頂戴いただきました義援金は、泊村と折半し、対象者17名に「歳末見舞金」として有効に活用させていただきました。義援金への温かいご寄付いただきありがとうございました。

令和5年度歳末義援金寄付者の皆様へ

●三〇、〇〇〇円

(株)山二工業

泊建設業協会

泊村議会議員会

●二〇、〇〇〇円

(株)共和電工

(株)草別組

(株)富士電気商会

茅沼建設工業(株)

佐竹建設(株)

●一〇、〇〇〇円

愛知時計電機(株)

医療法人溪仁会

泊村立茅沼診療所

(株)進榮

(株)吉本組

(株)宮谷工業

(株)梅川医科機械店

カブト石材工業(株)

新栄クリエイト(株)

第一電設(株)

古宇郡漁業協同組合

北海電気工事(株)

北電総合設計(株)

(有)マリノテック

●五、〇〇〇円

(株)創建社

セイコーマート泊店

泊村社会福祉協議会

会長 小林 常次

泊村商工会

平安荘

古宇郡漁協盆地区女性部

●三、〇〇〇円

うるま商店

茅沼郵便局長

茅沼商業納品組合

古宇郡漁業協同組合青年部

古宇郡漁業協同組合女性部

孟郵便局長

後志泊郵便局長

チカラ総合設計(株)

泊水難救済所

古宇郡漁協盆地区青年部

●二、〇〇〇円

寺井商店



ボラセンだより

泊村ボランティアセンター

〒045-0202 古宇郡泊村大字茅沼村500番地の2
TEL 0135-75-3761 FAX 0135-75-3763

No.1

Volunteer Center Letter

令和6年度から広報活動の一環として「ボランティアセンターだより(略してボラセンだより)」を社協だよりをとおして掲載し、泊村のボランティア活動・情報について、発信していきたいと思ひます!

ボランティアセンターとは



ボランティア活動をするために、ボランティア活動に関する相談に応じたりボランティア活動先へのコーディネートなどを行っております。住民の皆様が抱える悩みをボランティア活動をとおして、解決していきまひます!最近では「ゴミ捨てが大変」「窓ふきをお願いしたい」「部屋の家具が重たくてできない」「畑をおこしてほしい」など、個々に抱える生活問題が増えてきています。そのニーズに応えられるように、ボランティアと連携しながら個別課題の解決に向けて取り組んでいます。ボランティア活動をしてみたい・受けたい方がございました、本会までご連絡ください!お待ちしております。

ボランティア活動紹介

愛のふれあい訪問活動事業

独居・夫婦高齢者を対象に毎月1回(10~3月)、平安荘で調理されたお弁当を配布いたしました。配布には、ボランティアさん28名にご協力いただき、毎月300名以上の方々に無事にお弁当を配布することができました。受け取られた方からは「冬期間は外に出る機会が少なく、誰かと話すことも減ってしまうため、顔を合わせて話すことが毎月楽しみ」との声が聞かれました。ご協力いただいたボランティアの皆様には、雨の日・雪の日にも関わらず、ご協力いただき本当にありがとうございました。ボランティア活動をしてみたい・受けたい方がございました、本会までご連絡ください!お待ちしております。



ボランティアさんが手渡しでお弁当をお渡します!



平安荘さんのふれあいお弁当

北海道信用金庫ひまわり財団様よりご寄付いただきました



「北海道信用金庫ひまわり財団」様から昨年度に引き続き、100,000円の寄付金をいただきました。いただいた寄付金につきましては、本会が実施する地域活動事業等に活用させていただきます。同財団には、本会表彰規程に基づき、泊村社会福祉協議会 会長 小林 常次から表彰状を授与致しました。



.....「愛情資金貸付事業」お知らせ.....

低所得世帯など経済的支援を必要とする世帯に、自立支援を目的に一時的な生活費として小口の生活資金の無利子で貸し付けできる貸付制度です。(貸付には審査がありますので、ご希望に添えない場合もあります)

〈対象者〉

- 一時的な生活困窮者世帯

〈貸付状況〉

- 泊村に居住している方
- 連帯保証人が必要です。

(保証人は原則として泊村に1年以上引き続き居住している方)

〈貸付状況〉

- 1世帯上限の5万円の範囲内(※無利子)

〈償還方法および償還期間〉

- 措置期間1ヶ月を含む6ヶ月以内とする
- 一括返済・分割返済のどちらか。

※生活状況に合わせた償還方法にいたしますのでご安心ください!

相談申込窓口 泊村社会福祉協議会 ☎(0135)75-3761

令和6年度「ふれあいサロン応援事業」の申請が始まります

サロン活動参加により、閉じこもりや孤立の防止、生きがいの向上や介護予防の観点でもその効果が実証されています。現在、泊村で活動されているサロンが外部から補助金・助成金を受けていない場合、本会から安定して活動が継続できるように活動費の助成いたします。(ただし、老人クラブ活動を除く)

〈対象者〉

- 村内サロン活動団体

〈貸付状況〉

- 5名から9名の場合、1回の開催につき500円
- 出席者10名以上の場合、1回の開催につき1,000円



サロンとは...

高齢者の集い・通いの場である高齢者サロンは、地域住民が主体となって運営・参加を行い、高齢者であればだれでも参加できる地域交流の場です。

※助成金以外にもサロン活動の支援要望・新規立ち上げ等でお悩みの方はご相談ください。

編集後記

例年より早く春の訪れを感じるこの頃となりましたが、今年の冬は気温の変化が激しく、体調を崩されていなかったでしょうか。わたしは寒い日が続いた時には風邪予防として、みかんを食べてビタミンCを摂取し、風邪予防していました。ビタミンCには免疫力を高め、細菌やウイルスへの抵抗力を上げる効果がありますので、風邪予防にはまず「みかん」をぜひ食べてください!わたしは食べ過ぎて指が黄色くなってしまいましたが...(笑)冬も明け、春となりますが、まだ肌寒い季節が続きますので、体調等に気を付けてお過ごしいただければと思います。